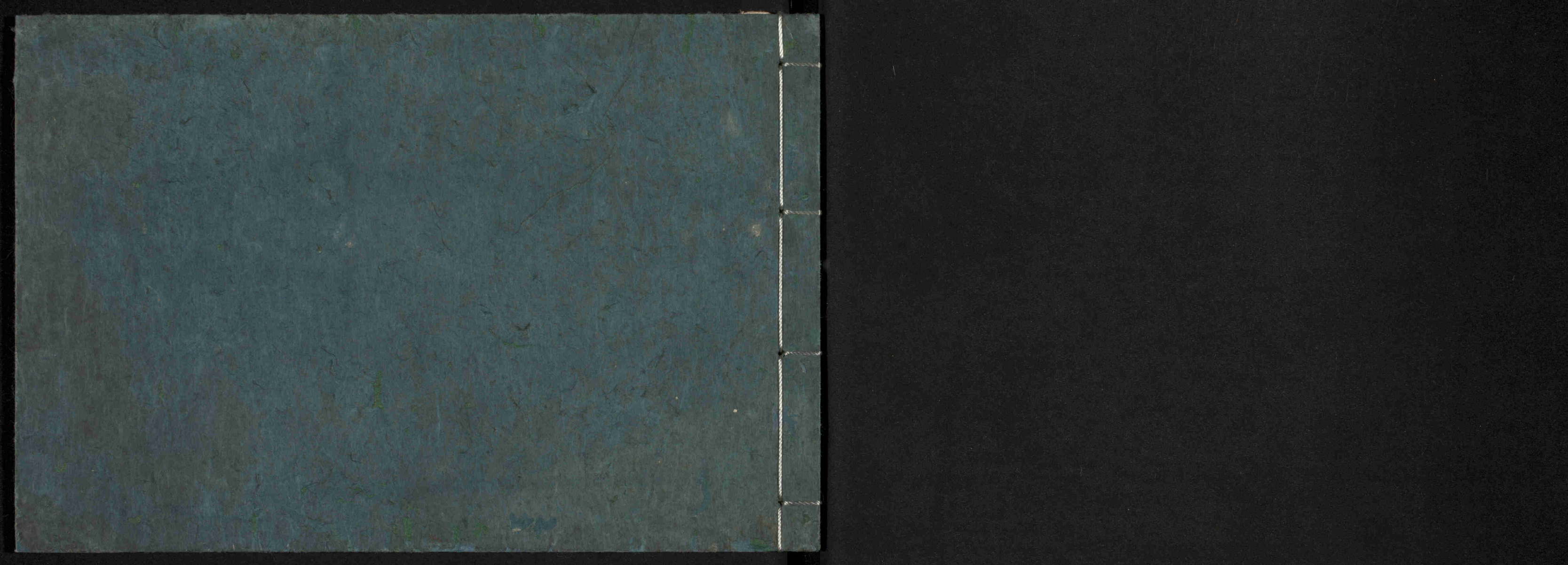




山田庄

献立之次第



初ん川後

かしり

一の三酒造り

こふ

二

かしり

かしり

一の三酒造り

かしり

三

一かくり

一ひきの物

一はなも

右三らん乃次方

七み三乃次方

中膳

一茶引 一うめ 一ちん

一あきせ せ

一ちう乃物 一ふおを 一まを

二乃膳

一ち 一ち 一あけ汁

一ち たい汁

一ちす 一ちり

三乃膳

一ちり

一ちす 一ち汁

一ふかり

ちうぶなより

一あいのち

一ちつちあり

菓子

一あんらきんく一きんく

一あんきんく一やじ

一ふきんく一しきんく

みきんく二乃汁

一茶きんく一や物

一あつ汁

一あききんくせきんく

一うれ物きんく一海きんくがこ一や

二乃膳

一きんく一きんく

きんく
みきんく

一あまきんくしきんく一たい汁

一あきんく一や

三乃膳

一しきんく

きんく

一あきんく一やきんく

一あきんく

一菓子

一五三二乃牙

一平膳^セ

一^セ一^セ一^セ

一計

一^セ一^セ一^セ

一^セ一^セ一^セ

一^セ一^セ一^セ

一食

一^セの物

一^セの物

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

一^セ膳^セ

寛永拾六年

九月吉日

卯月十一日

一 引後

一 ちり

一 蟹汁

一 汁

一 ぶ

二 献

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

三 献

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 ちり

一 かつの池 一 海がこ ぬめ

二

一 ころひて 一 ぬめ

一 ぬめ

ぬめ

ぬめ
うむ
うむ

一 海月 一 このま

三

一 ぬめ

一 ぬめ

ぬめ

一 ぬめ

一 ぬめ

一 ぬめ

一 竹のこみそ

一 ぬめ

ぬめ

一 ぬめ

一 ぬめ

ぬめ

一 ぬめ

ぬめ

一 ぬめ

一 ぬめ

一 ぬめ

梅 雲 ぬめ

九月廿日

家内

た

海ほ

あまもせ ぬめりて

うのこ

かう揚

ぬめり

二

もたもちあ

もこちあ

あまびい

汁あめ

汁あめ

くらひ

うす

三

あびあかり

たいあか

さつ

汁

あまの

ひが入

汁

もい

ひれ

え

あ

うす

ひのこ

御ひ

あま

汁

あ

あまの

う

あ

二

ふひやそ

けん うが

あまふふふ うが

まきり

あめ

ふ

うーいりり

け うが

かきふふふふ

いり

あまふふ

あま うが

あまふふ

あまふふ うが

あまふ

あま

あまふ

あまふ うが

あまふ

あまふ うが

あまふ

あまふ うが

あまふ

あまふ うが

あまふ

あまふ うが

あま

あまふ うが

あまふ

あまふ うが

あまふ

あまふ うが

あまふ

あまふ

あまふ

あまふ

あまふ

一 ぐん 二 くのぼり

一 まんぢう 一 ちぢのぼり

一 じまひの 一 じまひく

一 あめ 一 じまひく

一 ちぢ 一

一 えんぶ 一

同 廿二 百の 晩

かきす たい

ちぢ

えん

ちぢ

けい けい

小地ようもせんぐ入

ユ

うやき あめ

ちぢ

けい けい

むびさたい

けい けい

おもの

ニ

うーみ

けい けい

ちぢ

向後

う

うのひれ

こたへ

こたへ

み

う

う

う

う

う

ひ

う

う

う

う

う

う

う

かん

う

や

う

う

う

ひと

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

こまやうな

ふふふ

やまのり

同九六日乃

ふふふ

汁

は
きん
た
ふ

あまの
うまの

ふふふ
たふぎ

や

二

ふふふ

こま

汁
は
きん

ふふふ
ひふ

三

松やき
ぐんのやき

汁
は
きん

たの
たふ

向
緒

ふふふ
は
きん

又
緒

こま
やき

又
緒

ふふふ
ま

ふふふ
は
きん

ひもの
は
きん

ふいふ ふいふのあざを

さくらけ

もろやち

ひらやち
うちこ
こさき
ふさ
う

かろの

むら
むら
ふさ
う

めらだ くら

と程 さき

素くら

くらやちくら

ふのふ ふのふ

十月廿一日之受

ひいごう

酒びて

たい
あひ
うん
ひき
えん
よふのうむら
けふよふ
けふよふ
あふ切

二 あを竹のあき
うらの肉金
あひて

いしめ

あふかし

汁 うん

あけ金

あふあを

二 板の三角
あふう
汁

あふあを

あふあを

うはつたうか

さんざんかへ回詰

いさうき

りへ

うへ

せんが

りへ

あひ
あひ
あひ
あひ
あひ

み詰

あんな
なまこ
うま
うま
うま

あひ

うへ

あんな

あんな
いざり
ころ

あんな
あんな
あんな

あんな

あんな

あんな

あんな

あんな

同

あんな

汁

あんな

あんな
あんな
あんな

二

り

あつちやあつち

たい
しらべ
さび
ささげ
うさ
うさ
えん
えん

汁
た
こ
えん

三

うやき
あま
あま

汁
あ
かん
えん

うげうらうをわ

白浩

こたいやさそ

る
白

えん
えん

うむやん

えん
えん

ゆでうら

えん
えん

うむとら

えん
えん

えんやん

えん
えん

もーやん

えん
えん

こいあやん

えん
えん

えんやん

えん
えん

かうのうら

えん
えん

えんやん

えん
えん

えん

えん
えん

えん
えん

えん

えん

原抄

やき新乃秘傳

一、よの健にふかかへてゆく
それたふふにわけてつけ
むことのほううーあうい
ううてとうーそのま
とーいねよふやん
はうーたいのふやん

同

判書家三人上座四拾六人

中膳

足打

ふきん

ふきん

汁

ふきん

汁

いせあひ

茶

あます

ふきの物

ふきの物

汁

ふきの二

ふきの二

汁

ふきの

ふきの

汁

梅

きん
きん
きん

蛸

三

角
角
角

角

海
明
る
る
る

角
盛

角
角

い
る

金

本
の
あ
る

角
牛
房

い
物

小
新

あ
る

あ
る
二
三
角

あ
る
あ
る
あ
る
あ
る

あ
る

あ
る
あ
る
あ
る

あ
る
あ
る
あ
る

あ
る
あ
る
あ
る

あ
る

あ
る
あ
る

汁
い
や
汁

角
鹿

引渡三方
長對沖
昆布
揚栗

御本膳

上えんの官えん二人
 佐使えん三人
 金吾えん之膳えん
 良えん之膳えん

金
鹽
二
三

紙^{かみ}の金^{しん}
灰^{かい}物^{ぶつ}
ありあり

南
北

合方全
明
卷之五

人主名金
所食湯

卷之三
增補金石錄

金物

金小角
蒲平金

金陽院

大令金瓶
三

人々金
病盛
病

二土炭金
 二土炭金
 二土炭金

金 螺 子 出 張

金臨^二記

金瓶梅
每

汁類

三

金
小

小角金 十五兩
拾五兩 金

五言古詩
五言古詩

明倫彙編
家範典
卷一百一十五
小兒金

御藥子

金珠堂同文

方

湯 醫 膳

膳 料理

牛 房

汁

糸 子

生 薑

平 血

新

藥 物

鮫 魚

鮫 土 炭 令

水 食

二

貝 炙

貝 炙 栗

胡 桃

黑 明 麻

前 烏

汁

麵

敷 物

紫 子 散

血 三

湯 力 配

汁

寒 汁

甘 苦

藥 海 鹿

引 込

か の 物

か の 物

灸 物

小 麵 土 炭 令

灸 物

豆 打 紙 子 散

車 多 比

豆 打 紙 子 散

少 人 少

福 物

水 子 散

と の 物

新 汁

八 寸 糸 子

盆 巻

金 子 散

看 金

切 滿 粹

金 餅

沖 菓子

金 子 散

看 金

切 滿 粹

金 餅

山

寛永十八年 七月

寛永十九年

年

五月廿日

高橋五郎

行

中村十右衛門



大坂市心齋橋
林亦忠雅堂
通本町四丁目



110X
499
8